

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	先端的スポーツ医・科学研究推進事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和8年度	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 西川 由香		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第16条、第25条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 「持続可能な国際競技力向上プラン」(令和3年12月27日スポーツ庁策定)			
政策	11 スポーツの振興			主要経費	科学技術振興費			
施策	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-08.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備に資する活動を行うことを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	スポーツを取り巻く医科学分野が飛躍的に発展しており、最先端の「医学分野」、「情報分野」、「工学分野」等の分野において、スポーツ医・科学研究の推進が必要されている。また、我が国の国際競技力向上において中心的な役割を担っているハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)に最先端の医科学分野の研究者が少なく、これらの分野に強みを持つ研究機関等との連携が必要とされている。さらに、スポーツ医・科学研究を行う若手研究者を育成する環境を整備する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内)	本事業では、スポーツにおける「医学分野」、「情報分野」、「工学分野」等に関する先端的な研究ならびに次世代の中核を担う若手研究者の育成を継続的に行う機関を「先端的スポーツ医・科学研究拠点」として指定し、HPSCと連携・共同研究をし、スポーツ医・科学研究を推進する。更には研究で得られた知見を実践において活用(実装化)できるよう取り組むことで国際競技力向上に資する取組を行う。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00145.html							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	150.3	146.3	146.3	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	150.3	146.3	146.3		
	執行額(G)				150			
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	-	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		スポーツ振興費					
		(目)	スポーツ医科学研究支援等委託費	146				146
			その他					
	計(A)		146.3	146.3				

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-	
	URL	-	
	該当箇所	-	
事業所管部局による点検・改善			
点検結果	本事業は限られた予算の範囲内で、いかに効率的に独創的で革新的な研究・次世代を担う若手研究者の育成を行うかが課題となる。	目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)	
		-	
改善の方向性	・HPSCとの共同研究契約を締結していき、研究の継続はもとより、その他の研究テーマについても継続して研究成果をあげるため、定期的なMTGをスポーツ庁、HPSC、受託先の3者間で行っていく。 ・同様に人材育成についても定期的なMTGを行い、進捗確認及び方向性の確認を行う。 ・パラアスリート支援に関しては、JPSA等も巻き込み、意見交換を行う。		
外部有識者の所見			
本事業のアウトプット評価指標の一つである「拠点」数が3であり、選定された拠点は複数年度に渡って事業を行い最終的に自走し、かつ、更に倍の6拠点が自走する理解するが、レビューシートの「事業目的」からそれが読み取れないため、レビューシートの「事業目的」においてしっかりと説明する必要がある。			
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見			
事業内容の一部改善	この事業は、有識者の所見を踏まえ、最終的に目指している事業目的を明確化し、成果目標との関連性がしっかりと確認できるようにすべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
年度内に改善を検討	指摘いただいた事項に沿って事業目的への反映を行い、具体的に説明する。		
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ		
	-		
	上記への対応状況		
	-		
	その他の指摘事項		
	-		
上記への対応状況			
-			
備考			
-			

関連する過去のレビューシートの事業番号																								
平成23年度																								
平成24年度																								
平成25年度																								
平成26年度																								
平成27年度																								
平成28年度																								
平成29年度																								
平成30年度																								
令和元年度																								
令和2年度																								
令和3年度	2021	文科		新22	0028																			
令和4年度	2022	文科		新22	0019																			



